



自治体 における



報告書デジタル化の取
り組み



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.

さまざまな公開方法

種別	例1	例2
大学のHP	東北大学(研究室)	熊本大学(全学)
自治体のHP	宇土市(文化課HP)	福岡県(県HP)
リポジトリ	遺跡資料リポジトリ	全国遺跡報告総覧





研究報告書一覧

編著者	書名	発行年
芹沢長介編	磯山 PDF	1978
芹沢長介編	岩戸 PDF	1978
芹沢長介編	切込 PDF	1978
芹沢長介編	聖山	1979
芹沢長介編	向山 PDF	1980
芹沢長介編	モサンル PDF	1982
芹沢長介・須藤隆・阿子島香編	考古学資料図録 Vol.1, 2	1982
伊東信雄・須藤隆著	瀬野遺跡	1982
須藤隆編著	中沢目貝塚I —縄文時代晩期貝塚の研究—	1984
伊東信雄・須藤隆著	山王圀遺跡調査図録	1985
東北大学文学部考古学研究室	東北大学考古学報告 1	1985
須藤隆編著	中沢目貝塚 —第3次調査概報—	1986
芹沢長介・須藤隆・会田容弘編	荒屋遺跡 —第2・3次発掘調査概報—	1990
須藤隆編	土浮貝塚調査概報	1994
須藤隆編著	縄文時代晩期貝塚の研究2 —中沢目貝塚II—	1995
須藤隆編	国史跡山王圀遺跡発掘調査報告書 I	1996
東北大学文学部考古学研究会	考古学の方法 1	1996
須藤隆編	岩手県花泉町 中神遺跡の調査	1997
須藤隆編	国史跡山王圀遺跡発掘調査報告書 IIPDF	1997
須藤隆編	国史跡山王圀遺跡発掘調査報告書 IIIPDF	1998
東北大学文学部考古学研究会	考古学の方法 2	1999
東北大学文学部考古学研究会	考古学の方法 3	2000
東北大学文学部考古学研究会	考古学の方法 4	2003
芹沢長介・須藤隆編	荒屋遺跡 —第2・3次発掘調査報告書— PDF	2003
東北大学文学部考古学研究会	考古学の方法 5	2004
羽石智治・会田容弘・須藤隆編	最上川流域の後期旧石器文化の研究 1 —上ミ野A遺跡 第1・2次発掘調査報告書— PDF	2004
	「岩手県奥州市里槍遺跡発掘調査報告（土器編）」	2010

Repository Kumamoto University 熊本大学学術リポジトリ



HOME English Help

検索

詳細検索

一覧表示

- 著者
- 収録種別
- 日付（刊行年月日）
- 掲載誌一覧
- ダウンロードランキング

所属一覧

- 全一覧
- 文学 [801]
- 法学 [372]
- 教育学 [2310]
- 理学 [221]
- 医学 [430]
- 薬学 [59]
- 工学 [2403]
- 社会文化科学研究科 [325]
- センター等 [486]
- 事務局 [99]
- 附属図書館 [4105]
- 博士（学位）論文 [1577]

登録利用者:

- マイ・リポジトリ
(熊本大学統合認証)
- マイ・リポジトリ
(リポジトリ認証)

検索結果

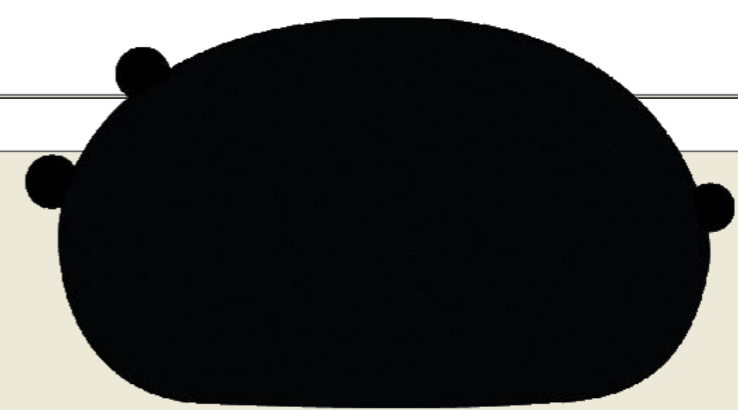
検索対象:リポジトリ全体
(キーワード:考古学)の該当件数は6件です。

1-6件目

絞り込み

- 環境変化の考古学的検証 / 甲元, 真之 -- 2007-12-1, 青驪 Vol.4 p.1-7 単行書の章
- 東アジアの中の弥生時代: 人と自然環境 / 甲元, 真之 -- 2007-12-1, 青驪 Vol.4 p.8-15 単行書の章
- 絵画資料と考古学 / 甲元, 真之 -- 2004-5-27, 青驪 Vol.1 p.7-22 単行書の章
- 砂丘の形成と考古学資料 / 甲元, 真之 -- 2005-7-15, 青驪 Vol.2 p.22-34 単行書の章
- 鞠智城についての一考察 / 甲元, 真之 -- 2006-11-1, 青驪 Vol.3 p.34-54 単行書の章
- 気候変動と考古学 / 甲元, 真之 -- 熊本大学, 2008-3-7, 文学部論叢 Vol.97 p.1-52 紀要論文

1



23:02 city.uto.kumamoto.jp

宇土市デジタルミュージアム
UTOCITY DIGITAL MUSEUM

日本語 English 中文 한국어 Português

文字サイズ 小 中 大

小西行長の部屋 ▶ 宇土市年表 ▶ 新宇土市史 ▶ 宇土の紙芝居 ▶ 大王のひつぎ実験航海事業 ▶ 年中行事

ホーム > 宇土市埋蔵文化財調査報告書

← 前のページに戻る

宇土市埋蔵文化財調査報告書



↑ ページのトップへ

施設案内



22:57 pref.fukuoka.lg.jp

福岡県
Fukuoka Prefecture

文字の大きさ 拡大 標準 色を変える 白 黒

Google Custom Search

はじめての方へ サイトマップ 音声読み上げ・ふりがな・文字の拡大

English 中文 한국어

防災・安全

暮らし・環境

健康・福祉

しごと・産業

子育て・教育

観光・文化・スポーツ

県土づくり・地域振興

県政基本情報

トップページ > 行政資料 > 平成25年度発行 埋蔵文化財発掘調査報告書 (PDF)

平成25年度発行 埋蔵文化財発掘調査報告書 (PDF)

いいね! 0

ツイート 印刷用ページ

説明

福岡県教育委員会（九州歴史資料館）が平成25年度に発行した、埋蔵文化財発掘調査の報告書のPDF版です。（ファイル容量の大きいものは分割して掲載しています）

書類ダウンロード

- 西蒲池池淵遺跡2 [PDFファイル/25.85MB]
- 延永ヤヨミ園遺跡 5-4~7区 その1 [PDFファイル/19.73MB]
- 延永ヤヨミ園遺跡 5-4~7区 その2 [PDFファイル/37.26MB]
- 延永ヤヨミ園遺跡 5-4~7区 その3 [PDFファイル/23.48MB]
- 宮原金山遺跡2 鉄関連遺物・分析篇 [PDFファイル/27.45MB]
- 長畑遺跡群2地区 [PDFファイル/2.01MB]
- 永満寺桜馬場遺跡 [PDFファイル/43.47MB]
- 五ヶ山2 東小河内遺跡 [PDFファイル/18.17MB]
- 福岡県の中近世城館跡1 筑前地域編1 その1 [PDFファイル/20.63MB]
- 福岡県の中近世城館跡1 筑前地域編1 その2 [PDFファイル/28.56MB]
- 東九州自動車道関係埋蔵文化財調査報告9 ヤヨミ園遺跡1区の調査1 [PDFファイル/22.13MB]
- 東九州自動車道関係埋蔵文化財調査報告10 菅見川ノ上遺跡ほか [PDFファイル/20.33MB]
- 東九州自動車道関係埋蔵文化財調査報告11 延永ヤヨミ園遺跡2区2 [PDFファイル/39.26MB]
- 東九州自動車道関係埋蔵文化財調査報告12 宝山小出遺跡ほか [PDFファイル/20.75MB]
- 東九州自動車道関係埋蔵文化財調査報告13 福原長者原遺跡ほか [PDFファイル/33.92MB]
- 東九州自動車道関係埋蔵文化財調査報告14 京ヶ辻遺跡ほか [PDFファイル/25.03MB]
- 東九州自動車道関係埋蔵文化財調査報告15 石堂大石ヶ丸の水室ほか [PDFファイル/20.01MB]
- 東九州自動車道関係埋蔵文化財調査報告16 土佐井遺跡2区ほか [PDFファイル/14.06MB]

分類記事



WEBで発掘調査報告書を読める

全国遺跡報告総覧

Comprehensive Database of Archaeological Site Reports in Japan

English | 日本語
→ トップページへ戻る

検索

検索

詳細検索

一覧

新着一覧

発行機関一覧

報告書種別一覧

注目コンテンツ

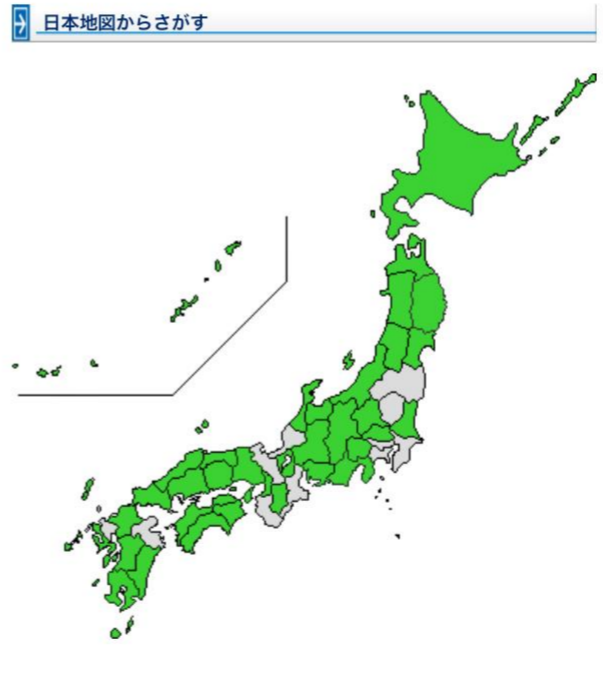
その他

利用案内

よくある質問

リンク集

- 遺跡報告総覧通信
- 2/10 注目コンテンツ機能の公開
 - 2/9 大河ドラマ「真田丸」と厩橋城（前橋城）
 - 1/22 シンポジウムのチラシが完成しました
 - 1/3 大河ドラマと全国遺跡報告総覧
 - 12/25 2016年2月18日シンポジウムを開催します
 - 11/26 報告書種別を設定
- このサイトについて



【全国遺跡報告総覧とは】

「全国遺跡報告総覧」は、埋蔵文化財の発掘調査報告書を全文電子化して、インターネット上で検索・閲覧できるようにした“電子書庫”です。「総覧」は、全国遺跡資料リポジトリ・プロジェクトによって構築された遺跡資料リポジトリ・システムとコンテンツを国立文化財機構 奈良文化財研究所が引き継ぎ、運用しているものです。

貴重な学術資料でありながら、流通範囲が限られ一般に利用しづらい報告書をインターネット上で公開することで、必要とする人が誰でも手軽に調査・研究や教育に利用できる環境の構築を目指しています。

【全国遺跡資料リポジトリ・プロジェクト】

国立情報学研究所の最先端学術情報基盤（CSI）整備事業の委託を受けて、2008（平成20）年度～2012（平成24）年度の5年間にわたって、全国の21の国立大学が連携して取り組んだプロジェクトです。発掘調査報告書の電子化は、主に科学研究費補助金研究成果公開促進費を活用して行い、委託事業期間に約14,000冊近くの報告書を電子化しました。

(⇒全国遺跡資料リポジトリ・プロジェクト)

1015

3 2

いいね!

ブックマーク G+ ツイート シェア

最新の5件

文化財調査報告書

副書名：平成10年度文化財調査報告書

巻次：29

ダウンロード

現在の登録数

15985 件

(前年度比 + 1653 件)

(発行機関数 332 機関)

全国遺跡報告総覧

シンポジウム

- 発掘調査報告書 -

- デジタル化の方向性を探る -

日時

2016年2月18日 (木)

English | 日本語
→ トップページへ戻る

発行機関一覧 > 熊本県 > 熊本県教育庁教育総務局文化課

熊本県 - 熊本県教育庁教育総務局文化課 - 報告書一覧

発行年月日 (降順) 並び順



頭地下遺跡

副書名：川辺川ダム建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査

巻次：1

シリーズ名：熊本県文化財調査報告

シリーズ番号：297

編著者名：宮崎 敬士

発行(管理)機関：熊本県教育庁教育総務局文化課 - 熊本県

発行機関：熊本県教育委員会

発行年月日：20140331

作成日：2015-12-07

ダウンロード 1

ダウンロード 2

ダウンロード 3



瀬田狐塚遺跡

副書名：立野ダム建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査

巻次：1

シリーズ名：熊本県文化財調査報告

シリーズ番号：296

編著者名：村崎 孝宏

発行(管理)機関：熊本県教育庁教育総務局文化課 - 熊本県

発行機関：熊本県教育委員会

発行年月日：20140331

作成日：2015-12-07

ダウンロード



塔平遺跡

副書名：九州縦貫自動車道嘉島JCT(仮称)建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査

巻次：2

シリーズ名：熊本県文化財調査報告

シリーズ番号：302

編著者名：佐藤 哲朗 | 坂井田 端志郎 | 水上 公誠

発行(管理)機関：熊本県教育庁教育総務局文化課 - 熊本県

発行機関：熊本県教育委員会

発行年月日：20140331

作成日：2015-12-07

ダウンロード



古閑野田遺跡

副書名：一般県道大野下停車場西照寺線単県道路改良事業に伴う埋蔵文化財発掘調査

巻次：1

シリーズ名：熊本県文化財調査報告

シリーズ番号：294

編著者名：宮本 大

発行(管理)機関：熊本県教育庁教育総務局文化課 - 熊本県

発行機関：熊本県教育委員会

発行年月日：20140331

作成日：2015-12-07

ダウンロード



玉名平野条里跡+両迫間日渡遺跡+玉名の平城跡

副書名：県道玉名山鹿線道路改良工事に伴う埋蔵文化財調査+県道6号（玉名立花線）拡幅工事に伴う埋蔵文化財調査

巻次：1

シリーズ名：熊本県文化財調査報告

シリーズ番号：299

編著者名：山下 義浩

ダウンロード

さまざまな公開方法

種別	例1	例2
大学のHP	東北大学(研究室)	熊本大学(全学)
自治体のHP	宇土市(文化課HP)	福岡市(HP)
リポジトリ	遺跡資料リポジトリ	全国遺跡報告総覧

対象拡大

数量増大

全国遺跡
報告総覧

全国遺跡報告総覧を選択した理由



理由1

ワンストップ

理由2

検索能力

理由3

保守機能

デジタル化の方法

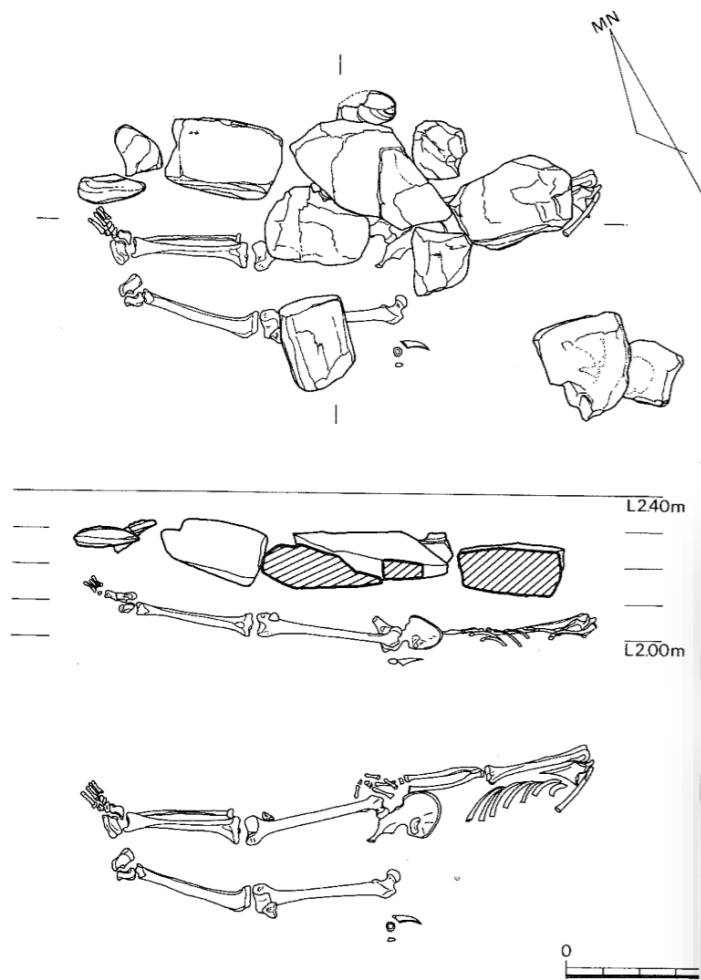
種別	時期
報告書の原稿から作成	印刷と同時
刊行された報告書から作成	刊行後、適時



(4) 古墳時代の遺溝

E・F-2・3区で古墳時代の埋葬と考えられる人骨が出土をみている。(第24図)

埋葬状況は、現地表面より約1.2m掘り下げた所で人骨の出土をみて、仰臥伸展葬であった。20~30cm程の砂岩および安山岩の礫を人骨の上に蓋がわりにのせて用いたものとみられ、頭部を東に向け、主軸方位N118°Eを測る。東側頭蓋骨及び左側上肢体、椎骨、左側寛骨を、イモガマ掘りの際、削りとられ50cmほどはなれた位置に再埋葬されていたが、攪乱をまぬがれた部分はきわめて正常な位置にあり、埋葬時の状態をそのまま残すものと判断される。また、攪乱を受けていた頭蓋骨その他のものも、同一個体と考えられる。副葬品として、左側大腿骨付近に「刀子」と、大形のアワビを右側大腿骨近くにみることができた。



第24図 1号人骨出土実測図(1/50)

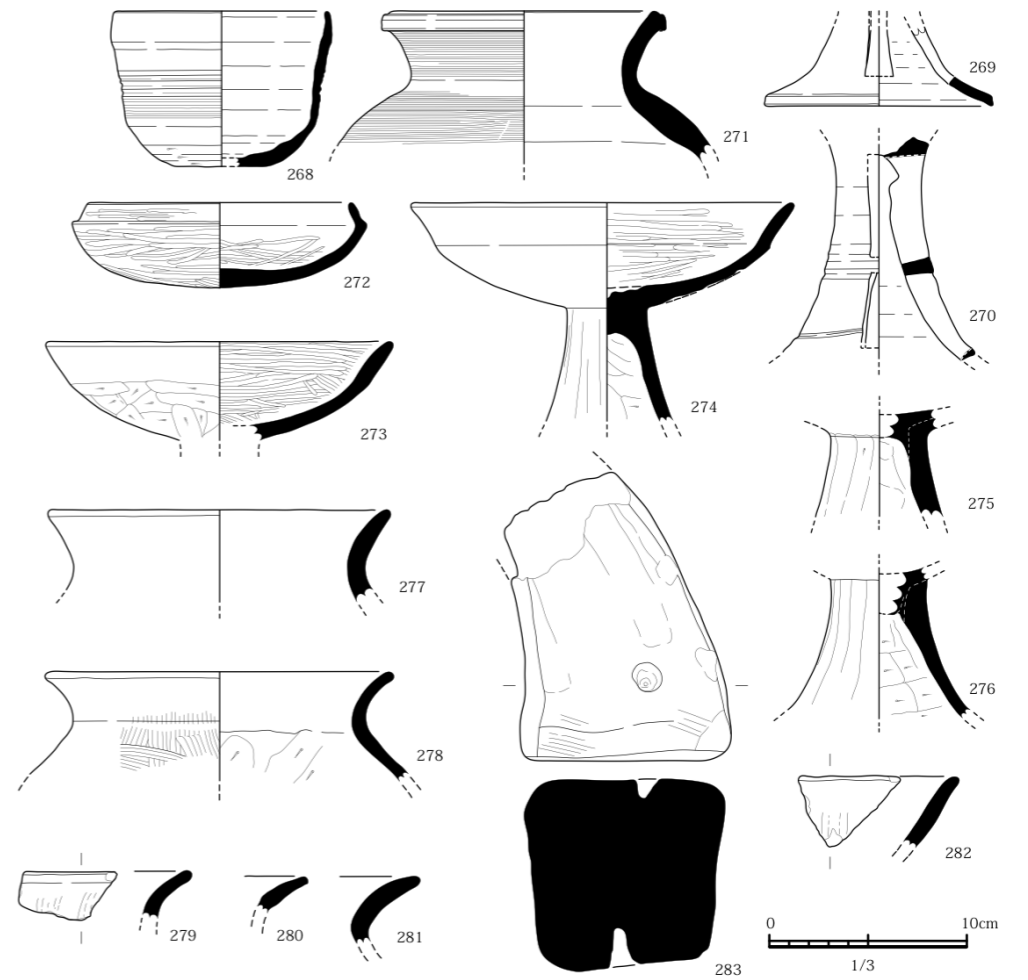


図63 S048出土遺物(RP)実測図

30cmを測る。

竈は、西壁中央部に造り付けられ、住居廃棄に伴い破却され、左袖の一部のみが残存していた。その法量(現存長)は、幅85cm、奥行35cm、高さ10cmを測る。燃烧部には礫と土器片が散在していた。煙道は検出されなかった。

硬化面は、住居の床面にみられ、長さ4.7m×幅0.9cm、厚さ0.2cmを測り、

坏2点(RP269、270)、鉢1点(RP268)、甕1点(RP271)、土師器の須恵器模倣坏1点(RP272)、高坏4点(RP273~276)、鉢1点(RP282)、甕5点(RP277~281)、土製品の支脚1点(RP283)、合計16点を図示した。II群は、須恵器の高坏2点(RP284、285)、土師器の高坏1点(RP286)、甕1点(RP287)、土師器の支脚1点(RP288、289)、合計6点を図示した。

鉄製品は、鉄鍔1点(RM11)は、鉄鍔1点を図示した。刀子1は、長さ4.7cm、幅0.9cm、厚さ0.2cmを測り、



Information

Man Power



Device



全国遺跡報告総覧への参加日程

時期	内容	手続き
9月初旬	全国遺跡報告総覧への参加の検討	参加伺い、課長決裁
中旬	課長から事務局あて申込み	申込書、申請書を送付
下旬	事務局から文化課あて参加承認	ID通知書、マニュアルを受領
12月初旬	準備	素材の収集、リスト作成(3日)
	手続	実施伺い、課長決裁
	作業	アップロード(半日)
	広報	熊本県HPに記事掲載
	通知	各市町村教育長あて通知
12月8日	第一次公開(77冊)	
12月中旬	準備	刊行物からPDF作成(2日)
	手続	実施伺い、課長決裁
	作業	アップロード(2時間)
12月24日	第二次公開(87冊)	

■実施方針■参加伺いに明記しました■

1 公開の対象 熊本県文化財調査報告

2 公開についての考え方

(1) 熊本県が刊行したすべての報告書を公開

(2) 概ね刊行1年後に公開

3 公開の方法

(1) 印刷時にPDF化した報告は、当該PDFを用いる

■作業方針■マニュアルにもとづく考え方です■

1 既存データの活用

- (1) 熊本県文化財調査報告リスト(熊本県文化財資料室)
- (2) 報告書抄録データベース(奈良文化財研究所)
- (3) 九州各県の報告書のリスト(佐賀大学 重藤輝行 教授)
- (4) 報告書抄録の原稿(各担当者)

2 目的の堅持

- (1) 閲覧用のPDFをつくる

効果と成果



- 1 利用実績を統計として瞬時に把握できる
- 2 調査報告の提供が迅速化、簡便化される
- 3 書架を節減し課内を効率的に利用できる



- 1 広域の調査成果を簡便に利用できる
- 2 多数の資料を迅速に把握し比較できる

全国遺跡報告総覧の特徴

- 1 既存作業に「アップロード作業」を加えるだけ
- 2 大変なのは「最初の」既刊報告書登録だけ
- 3 1冊/10分の処理で、調査成果を世界に発信！

検索能力

ワンストップ

保守機能

夏の企画展

被災地からの考古学 1

福島県浜通り地方の原始・古代

展示解説ハンドブック



福島県立博物館
2015

福島県立博物館
2015

震災から5年を迎えて

会場 福島県立博物館

プログラム1 特集展「震災遺産を考える ―ガレキから我歴へ―」平成28年2月11日(木)～3月21日(月)
 同時開催「3Dデジタル震災遺構アーカイブ体験」(特集展開催日の10時30分～12時、13時30分～15時)
 プログラム2 トークセッション「震災画像・映像アーカイブの可能性」平成28年2月18日(木) 13時30分～15時
 プログラム3 シンポジウム「震災遺構を考える ―震災を伝えるために―」平成28年3月19日(土) 13時～16時

ふくしま震災遺産保全プロジェクトでは、東日本大震災を歴史と位置づけること、歴史として共有し、未来に伝えることを目指しています。そのためにはまず「福島県に何が起きたのか?」「福島県に何が生じたのか?」を明らかにすることを出発点に、震災で生じた出来事や背景や要因を探っていく必要があると考えています。震災で福島県に起きたこと、すなわち「ふくしまの経験」を示す歴史的資料として、私たちは震災が産み出したモノやバシヨに着目し、これを「震災遺産」と呼んでいます。

福島県における本震災には、地震・津波・原子力発電所事故が与えたダメージと、これに対応した救助・避難・支援・除染などの様々な局面があり、この局面ごとにあるいは局面が重なって多量の瓦礫、広域に分布する仮設住宅団地、除染物質の広大な集積など非日常の光景が震災から5年の今も産み出されています。

本プロジェクトでは、震災遺産が震災の経験だけでなく震災前まであった人々の生活や日常を伝える手段になると考え、昨年度からフィールド調査や資料を収集・保全する取り組みを始めました。アウトリーチ事業「震災遺産を考えるⅡ」会津セッションでは、プロジェクトのこれまでの活動を皆様にご紹介するとともに、震災のカタチを多様な震災遺産と多様な保全のあり方から考える機会として、展示会・対談・シンポジウムを開催します。

- 主催 ふくしま震災遺産保全プロジェクト実行委員会
- 共催 東北大学学術資源研究公開センター
東北大学災害科学国際研究所
東北大学グローバル安全学トップリーダー育成プログラム

- ふくしま震災遺産保全プロジェクト実行委員会 (委員長 赤坂恵雄)
- 構成団体
相馬中村府群研究会 南相馬市博物館 双葉町歴史民俗資料館
富岡町歴史民俗資料館 いわき市石炭・化石館 (公財)ふくしま海洋科学館
いわき自然史研究会 福島県立博物館

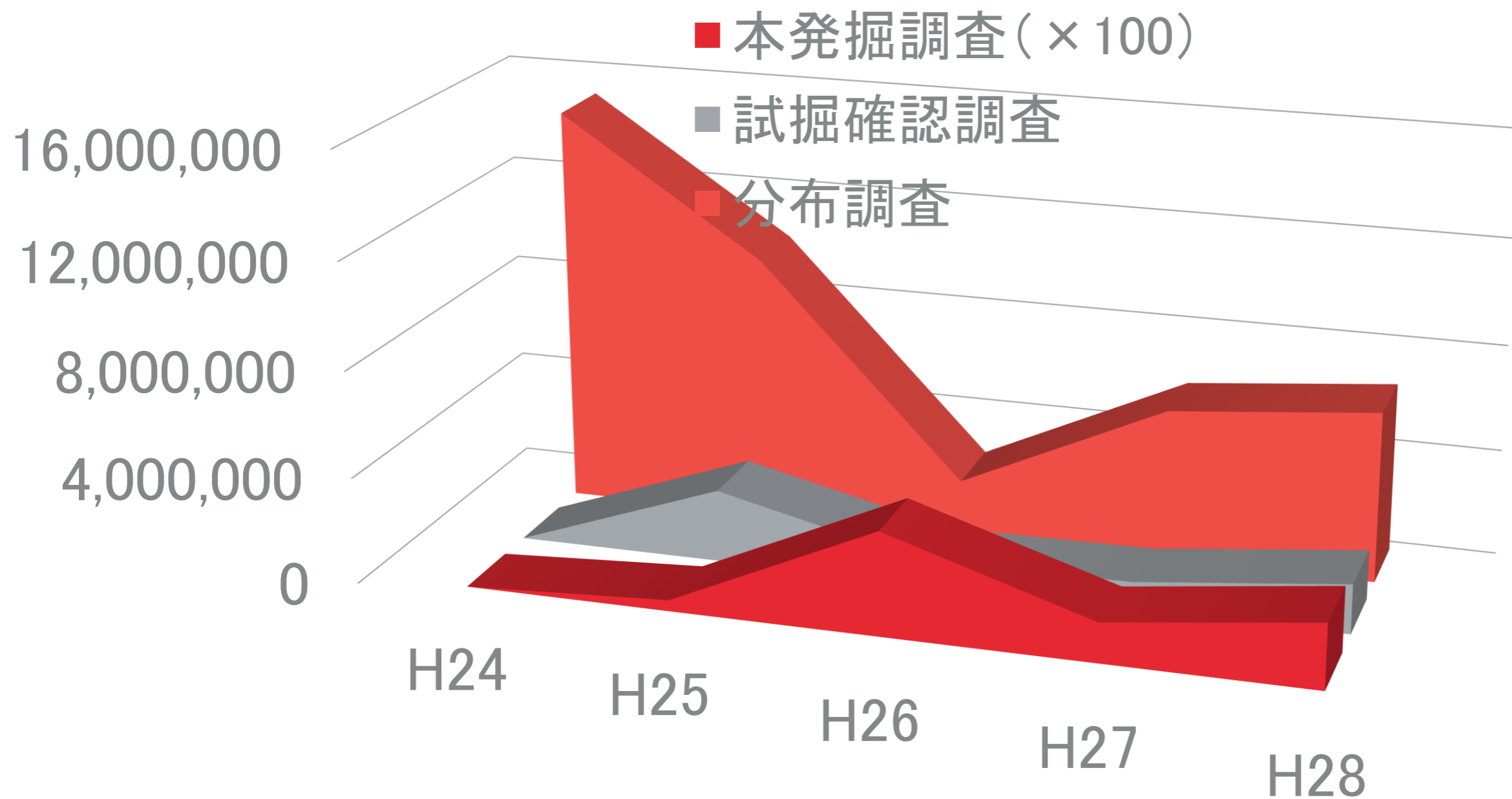
●お問い合わせ先 福島県立博物館 〒965-0807 会津若松市城東町1-25 TEL0242-28-6000



文化庁

ふくしま震災遺産保全プロジェクト「震災遺産を考える」実行委員会

これまでの調査内容

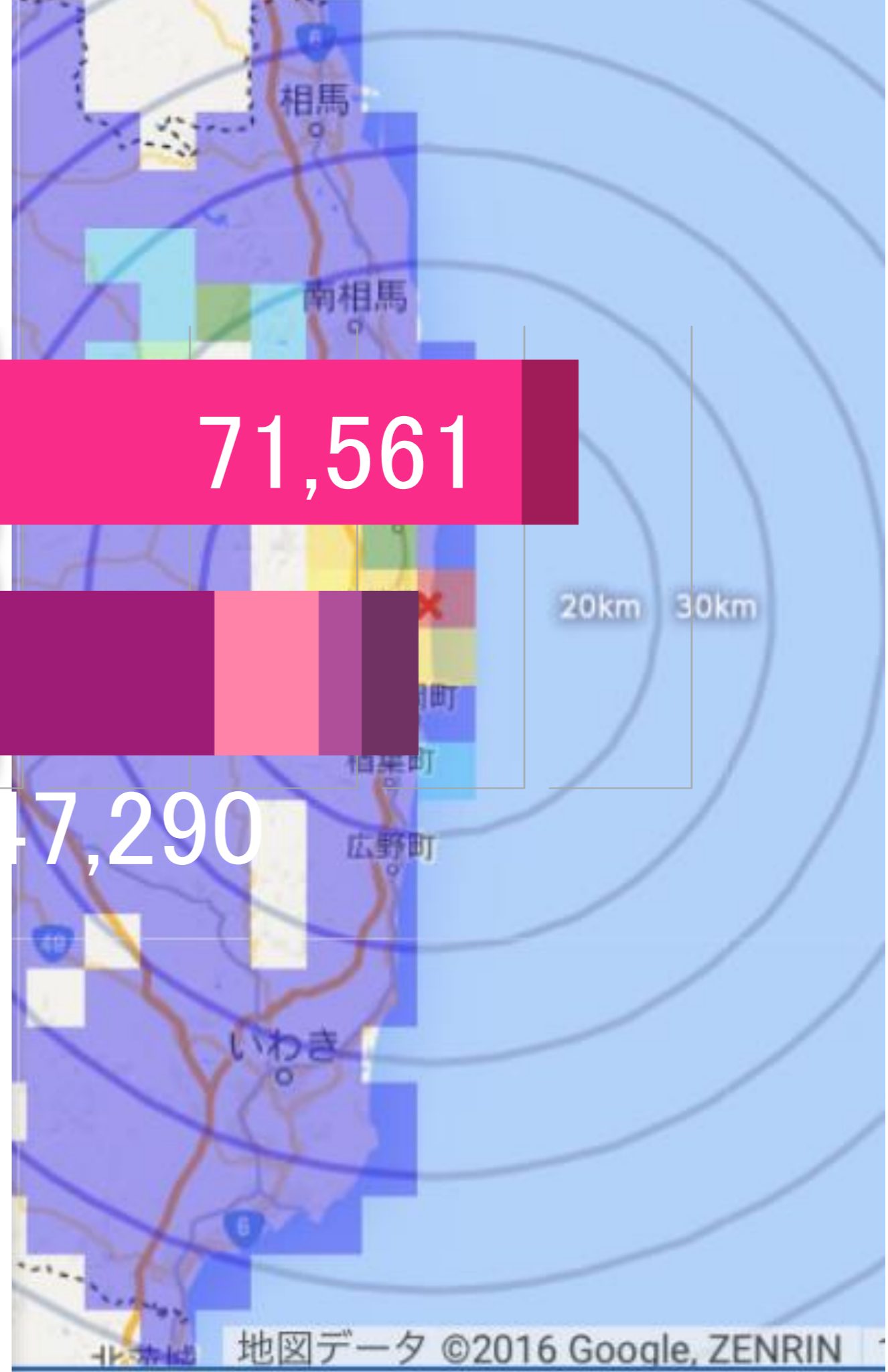




H23/3/11

H28/1/21

南相馬市の人口



平成 27 年度夏の企画展「被災地から考古学 1～福島県浜通り地方の原始・古代」

展示解説ハンドブック

平成 27 年 7 月 18 日発行

編集・発行：福島県立博物館

〒965-0807 福島県会津若松市城東町 1-25 TEL0242-28-6000

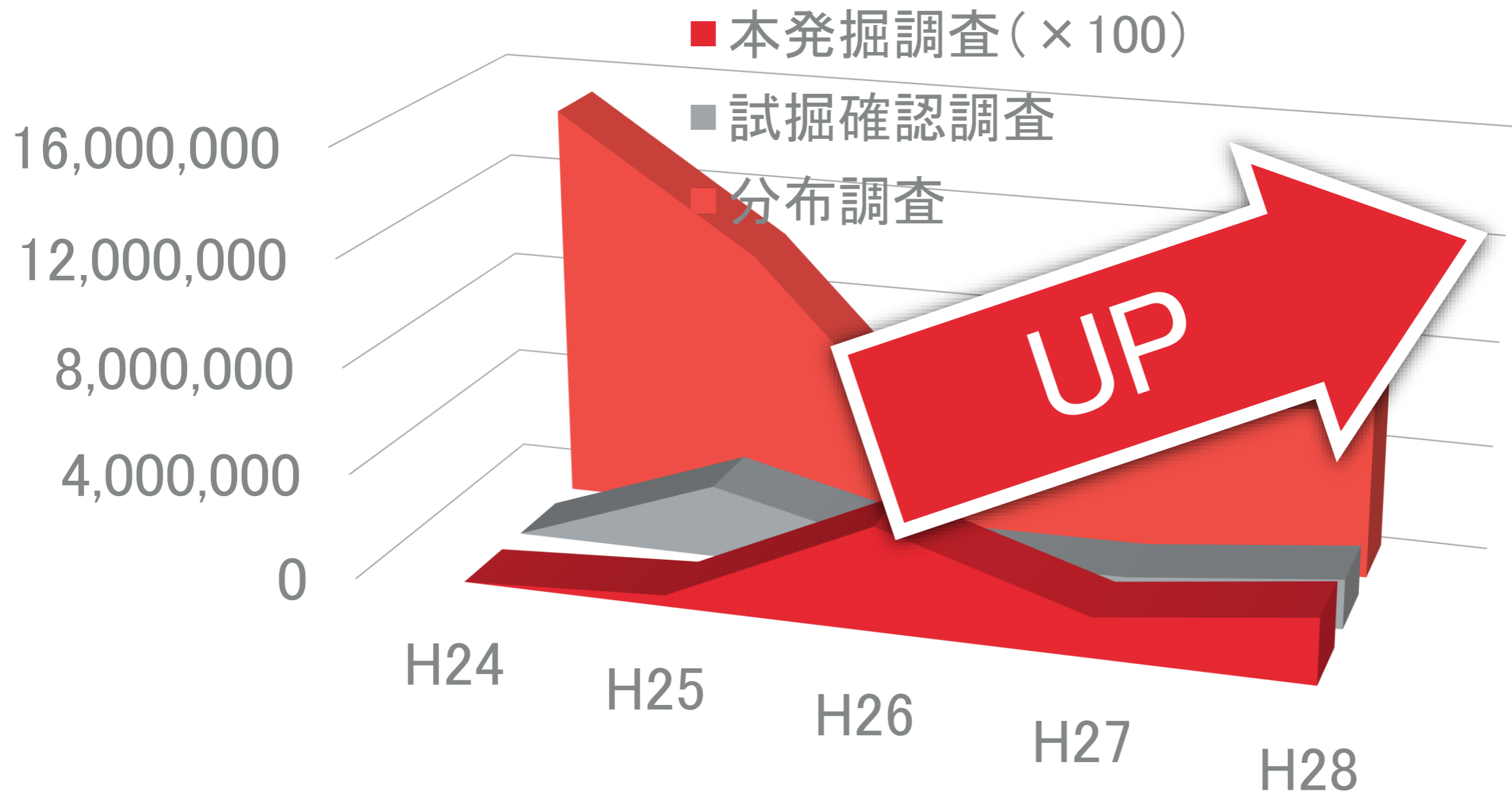
印刷：陽光社印刷株式会社

〒960-0112 福島県福島市南矢野目字萩ノ目裏 1-1 TEL024-553-4552

写真提供 いわき市教育委員会 (p.4~p.6 上段・p.29 下段)、南相馬市教育委員会 (p.25・p.26 上段)、福島県教育委員会 (p.6 中段~p.13~p.26 上段)

茨城県

これからの調査内容



オール福島で挑みます！

福島県 教育庁 文化財課
文化財課長 ー 復興事業担当

文化財課 南相馬市駐在
副課長 ー 福島県専門職員
ー 全国の支援職員
ー 財団の支援職員

被災市町村の教育委員会
いわき市教育文化事業団

福島県文化振興財団
調査課長 ー 財団の専門職員
ー 学校の出向職員
ー 財団の嘱託職員
ー 全国の支援職員



ふくしまからはじめよう。

IMFをよろしくネ
IWATE / MIYAGI /
FUKUSHIMA

